

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0014
 住 所 川崎市川崎区大宮町1310番地
 氏 名 昭和電工ガスプロダクツ株式会社
 代表取締役社長 平ヶ倉 一夫 印
 (代理人) 川崎工場長 宮嶋 勝則
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	昭和電工ガスプロダクツ株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区扇町7番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	液化炭酸ガス、ドライアイス製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	13,244	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 事業者全体基本方針

昭和電工グループの目標に関する行動計画に基づき、積極的な対策を進めている。

(1) 温暖化対策に関する取り組みを組織的に行い、継続的に対策を推進する。

(2) 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量削減に取り組む。

2. 川崎工場の基本方針

(1) 計画期間に事業活動地球温暖化対策指針にある基本対策メニューの実施を目指す。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

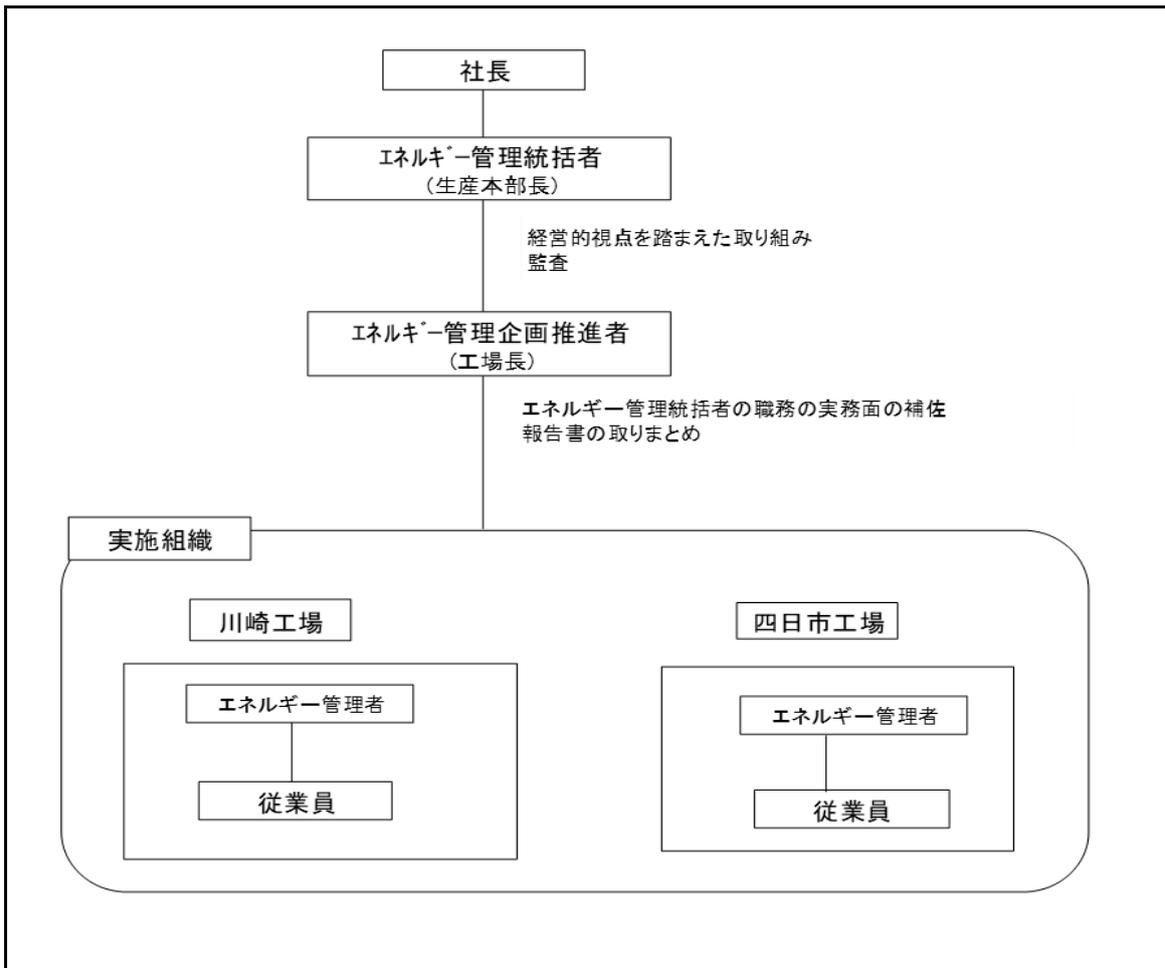
①川崎工場の排出量削減計画に基づき、省エネ及び排出量削減の目標設定を行い、計画を策定する。必要な項目に関しては予算化し確認・共有する。

②計画の進捗管理・エネルギー使用量の実績管理を行い、運転・設備保全上での課題を整理・検討し、予算申請を含め計画の見直しを行う。

③削減効果の検証を行い評価する。評価により今後の判断を行う。

以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2021				年度
目標	年度	2024				年度
基準	排出量	(実) 43,363 (調) 43,363	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実) 43,016 (調) 43,016	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂	
削減量		(実) 347	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実) 347	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実) 0	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実) 0.8	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		生産量			
原単位の単位		t-CO ₂ /千t			
基準年度の値		156.5			
目標年度の値		144.8			
削減率		7.5		%	

ウ 目標設定に関する説明

川崎工場の設備維持計画で、構内の水銀灯を計画的にLED照明へ更新し、期間内で50%の更新を目指す。また、サプライチェーン補助金により液炭プラントの新設を決定した。2024年の稼働を予定し、増産及び電力原単位の改善を目指す。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	(1) 川崎工場内の水銀灯をLED照明へ更新する。 (2) 老朽化対策として機器更新時には高効率部品への変更を図る。 (3) 液化炭酸ガスプラントの更新計画を進める。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(1) ガスエンジン及びボイラーの廃棄を実施した。 (2) 冷凍機の新設により既設冷凍機を予備機とする事で蒸気の使用量を大幅に削減した。 (3) 構内照明のLED化を進めた。 (4) 設備維持、安定化による効率的な運転をすることでロス的大幅な削減をするとともに生産量の増産を実現した。 (5) 冷凍機を活用し再圧縮電力を削減した。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

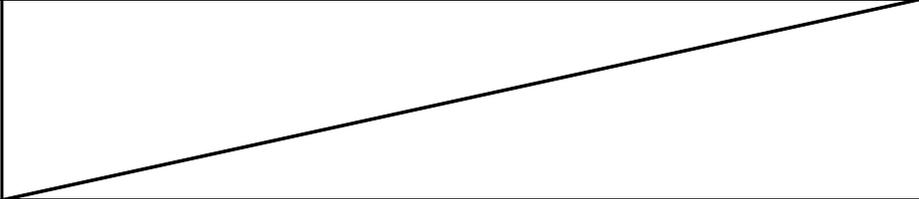
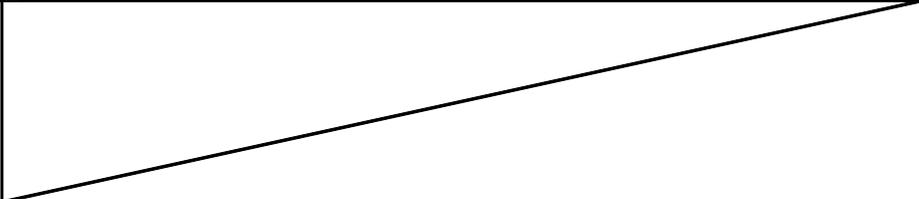
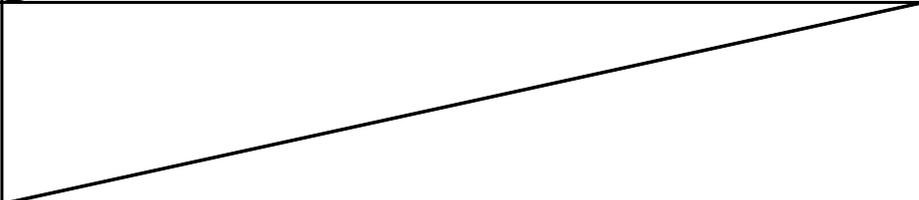
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

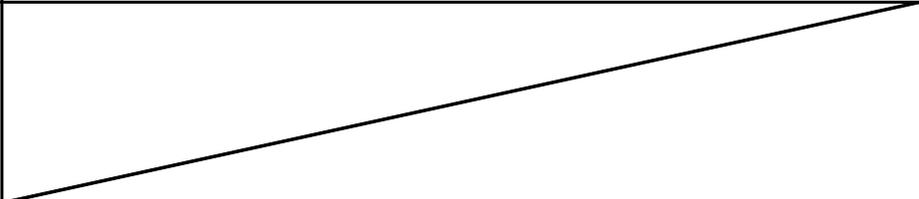
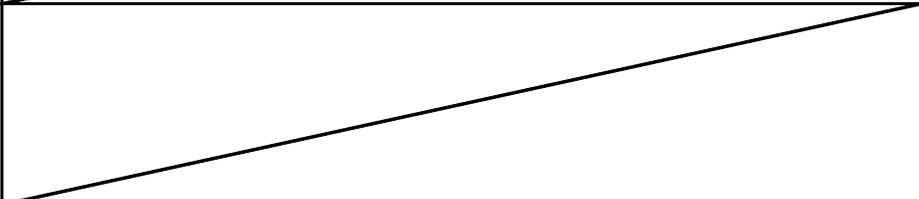
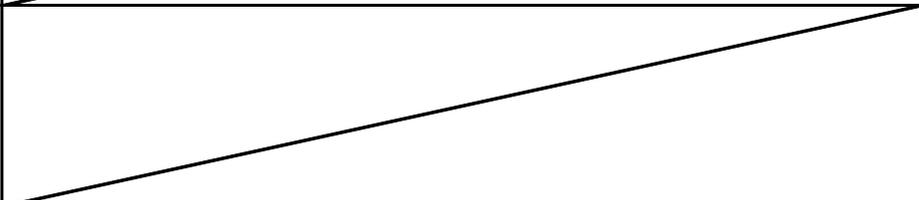
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	43,363	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

13,244	KL
--------	----

ウ 事業所の数

2

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎工場	川崎市川崎区扇町7番1号	43,335 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂